

門真市公共施設再編計画の改訂 概要版

令和6年3月に策定した門真市公共施設再編計画を改訂します。

○計画の趣旨

本市の公共施設は今後一斉に更新のタイミングを迎えます。

仮に現在の公共施設数を維持すると仮定した場合、インフラ施設、水道施設とあわせた今後の更新費用は、30年間で約2,288億円、年平均で約76.3億円かかる見込みになっています。

一方で、本市の人口は減少を続け、令和27年には90,856人まで減少する見込みとなっています。こうした状況をふまえ、本市では門真市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設マネジメントの基本方針の1つに「施設総量の適正化」を定め、施設総量縮減を図ることとしました。

本計画は、施設総量の縮減を計画的に進めるため、施設の複合化や統廃合等による施設再編のモデル等を示し、将来的な予算の縮減や平準化、さらには施設配置の最適化を図るとともに、再編した施設における市民の利便性・利用率の向上を目指すことを目的とするものです。

○基本的な方針

【再編コンセプト】

- ① 長期的視点をもったサービス提供
- ② 将来を見据えた施設総量
- ③ より使いやすい施設への転換
- ④ 既存施設の有効活用

【再編方策】

- (1) 貸館機能の積極的な多目的室化
- (2) 専用室の集約
- (3) 再編後の延床面積は26%以上の効率化
- (4) 民間施設、学校施設の活用
- (5) 近隣市との広域連携によるサービス提供

【再編の方向性】

次の事項をふまえて総合的に定めます。

- ・総合判定結果（利用状況・コスト・設置目的 等から施設を評価）
- ・改修時期の目安（コストを抑えるために改修時期を整理）
- ・現状と課題（現在の施設状況や周辺まちづくりの状況）
- ・再編対策費と効果額（限られた予算のなかで必要なサービスを提供）

○改訂趣旨

門真市公共施設再編計画の計画の基本的な方針（第2章）の中で、「方向性が決まっていない施設については継続して検討することとし、検討の進捗に合わせて毎年度見直します。」としているため、「検討中」としている施設等について見直しを行いました。

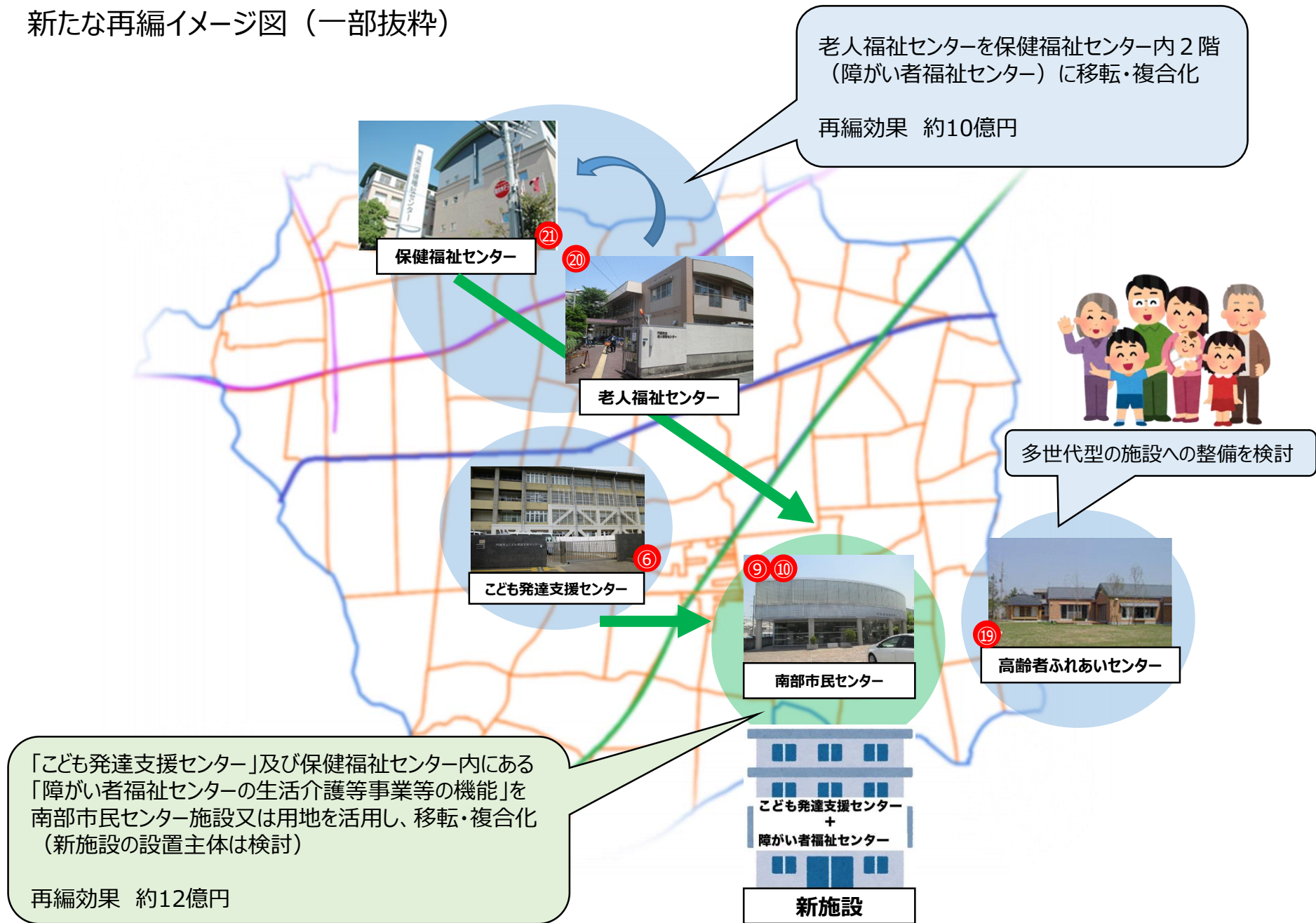
「検討中」を削除し、新たに今後の方向性を示す施設は8施設です。（右図を参照）

○主な改訂箇所（「検討中」を削除する施設）

施設名	再編概要
なかよし広場	砂子小学校跡地（放課後児童クラブ）へ移転
地域高齢者交流サロン	集会機能は生涯学習センターに集約化し、適応指導教室教育支援ルームかがやきとして施設を継続活用
高齢者ふれあいセンター	子育て世代や高齢者が活動できる、多世代型の施設への整備を検討
老人福祉センター	施設の機能は保健福祉センター内に移転・複合化し、施設は廃止
保健福祉センター	老人福祉センターとの複合化による多機能化
旧北小学校	校舎は廃止、倉庫機能は一時的に現庁舎及び仮庁舎（門真中町ビル）に移転し、新庁舎建設後は当該施設へ集約化
中小企業サポートセンター（分室）	分室が入居している門真プラザの除却に伴い、当該施設の貸館機能は近隣公共施設を活用
中小企業サポートセンター	現在の場所で実施

他、6施設が再編の方向性を検討中

新たな再編イメージ図（一部抜粋）



※各施設の項番は、門真市公共施設再編計画の対象施設番号と一致